

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語3
科目基礎情報						
科目番号	3S06		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 4		
開設学科	制御情報工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	Our World Today (英語で考えよう! 地球の未来) , 英和辞典、ビジョンクエスト総合英語 (文法参考書)					
担当教員	米永 正敏					
到達目標						
1. 文法力を強化し、英文の構造を理解して読めるようになる。 2. 語彙力を強化する。 3. 環境問題について理解を深める。 4. ディクテーションや音読を通じて会話能力の基礎を身につける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	教科書の文章がすべて理解できる。	ノートを参照すれば、教科書の文章がほぼ理解できる。	学習した内容を、自分で記録したノートが無い。			
評価項目2	教科書に即した単語テストで80%以上得点する。	教科書に即した単語テストで60%以上得点する。	単語テストで60%以上得点できない。			
評価項目3	学習した部分のCDを聞いて、内容が理解できる。	英語のアクセントやイントネーション、語のつながりに注意することができる。	英語を話したり聞いたりする際に、イントネーションやアクセント、語のつながりに注意を払うことが重要性だと理解していない。			
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	1・2年で学んだ学習内容を土台に、英語を使った基礎的なコミュニケーション能力を向上させる。各種英語検定試験対策として、リーディングスキルの養成に重点を置く。逐語和訳ではなく、内容全体の理解と、それに対する学習者の感想意見を発表する。環境問題に関する英文を「読む」ことを通して、既習の文法事項の確認と語彙の増強によって、自らの意見を発表を通して、「書く」ための基礎を固める。さらに音読等による発音の練習によって「話す」ことへの自信をつける。					
授業の進め方・方法	授業は教科書に沿って、2回の授業で1 unitを目安に進める。各自でノートを作成し、本文の内容把握及び新出語彙調べ等の予習を行ってこよう。随時、現代社会の時事問題に関する英文ニュース記事を取り入れる。適宜、単語テスト、ディクテーションテスト、音読テストを行う。					
注意点	(1) 評価：中間試験、期末試験70%、ネットアカデミー15%、その他、小テスト、課題レポート等で15% (2) 評価基準：60点以上を合格とする。 (3) 再試験は必要な場合は実施する。					
授業計画						
	週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	イントロダクション (授業と課題の説明)			英文法の基礎を確認する
		2週	Unit 1 Introduction to Environmental Issues 環境問題導入 Part 1			文章を読んで要旨をつかむ。
		3週	Unit 1 Introduction to Environmental Issues 環境問題導入 Part 2			本文の内容を理解し、設問を解くことができる。
		4週	Unit 2 Climate Change 気候変動 Part 1			文章を読んで要旨をつかむ。
		5週	Unit 2 Climate Change 気候変動 Part 2			本文の内容を理解し、設問を解くことができる。
		6週	Unit 3 Energy エネルギー問題 Part 1			文章を読んで要旨をつかむ。
		7週	Unit 3 Energy エネルギー問題 Part 2			本文の内容を理解し、設問を解くことができる。
		8週	Review 1 Unit 1 -3 の復習			環境問題の語彙確認、内容把握
	2ndQ	9週	Unit 4 waste ゴミ問題 Part 1			文章を読んで要旨をつかむ。
		10週	Unit 4 waste ゴミ問題 Part 2			本文の内容を理解し、設問を解くことができる。
		11週	Unit 5 Population Growth 人口増加 Part 1			文章を読んで要旨をつかむ。
		12週	Unit 5 Population Growth 人口増加 Part 2			本文の内容を理解し、設問を解くことができる。
		13週	Unit 6 Pollution 汚染 Part 1			文章を読んで要旨をつかむ。
		14週	Unit 6 Pollution 汚染 Part 2			本文の内容を理解し、設問を解くことができる。
		15週	Review 2 Unit 4 - 6 の復習			環境問題の語彙確認、内容把握
		16週				
後期	3rdQ	1週	Unit 7 Deforestation 森林破壊 Part 1			文章を読んで要旨をつかむ。
		2週	Unit 7 Deforestation 森林破壊 Part 2			本文の内容を理解し、設問を解くことができる。
		3週	Unit 8 Hydroelectricity 水力発電 Part 1			文章を読んで要旨をつかむ。
		4週	Unit 8 Hydroelectricity 水力発電 Part 2			本文の内容を理解し、設問を解くことができる。
		5週	Review 3 Unit 7-8 の復習			環境問題の語彙確認、内容把握
		6週	Unit 9 Solar Panels 太陽電池パネル Part 1			文章を読んで要旨をつかむ。

		7週	Unit 9 Solar Panels 太陽電池パネル Part 2	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。
		8週	Unit 10 Wind Turbines 風力発電 Part 1	文章を読んで要旨をつかむ。
	4thQ	9週	Unit 10 Wind Turbines 風力発電 Part 2	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。
		10週	Unit 10 Wind Turbines 風力発電 Part 3	要約文にまとめる方法を知る。
		11週	Review 4 Unit 9 - 10 の復習	環境問題の語彙確認、内容把握
		12週	Unit 11 Nuclear Energy 核エネルギー Part 1	文章を読んで要旨をつかむ。
		13週	Unit 11 Nuclear Energy 核エネルギー Part 2	本文の内容を理解し、設問を解くことができる。
		14週	Unit 11 Nuclear Energy 核エネルギー Part 3	要約文にまとめる方法を知る。
		15週	Review 5 Unit 11 の復習	環境問題の語彙確認、内容把握
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	前1
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	前1
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	前1
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	前1
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	前1
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	前1
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	前1
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	前1
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	前1
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	前1
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	前1
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	前1
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	前1
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	前1
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	前1
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	前1
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	前1
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	前1
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	前1
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	前1
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	前1
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	前1

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト等	合計
総合評価割合	70	10	0	10	0	10	100
基礎的能力	70	10	0	10	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0